
令和5年度 福井市文化財保存活用地域計画に関する
第1回ワークショップ報告書

令和6年1月

福 井 市

第 1 回 福井市の魅力を発見するワークショップ

開催概要

・開催日時

令和 5 年 11 月 11 日（土）
13 時 30 分～15 時 30 分

・開催場所 福井市立郷土歴史博物館

・参加者数 11 名

福井市文化財保存活用地域計画の作成にあたって、市民の方々の視点で大事と思う歴史や文化（未指定文化財等）に何があるのか、そしてそこから導かれる福井市の特徴を話し合うワークショップを開催しました。

第 1 回ワークショップには、地区で歴史や自然を調べている、まちづくりに取り組んでいる、文化財所有者、福井に関心のある、昔のことを知っているなど多様な方々が参加し、2 グループに分かれて意見交換を行いました。

テーマは、「これからも守り伝えていきたいと思う福井市の歴史や文化を発掘する」として、参加者がお住まいの地区にある様々な未指定文化財等をピックアップし、それらに対する思いを語り合いました。

○ 参加者のご意見

110 件のご意見がありました。大まかに以下のように 12 分野にわたるものでした（別添表参照）。

1 伝統料理・食材、2 寺社仏閣、3 古い街並みや景観、
4 仏像などの彫刻、5 祭りや伝統行事、6 城跡や古墳
などの遺跡や出土品、7 樹木や生物、8 芸能、9 近代
の産業遺産 10 鉱石、11 伝承・逸話、12 その他

特に、伝統料理、風景・景勝地など身近にあるもので多くの意見がありました。また、地区ならではの知っている人が少ないが大変重要なものなどを発掘できました。

今後、この意見をもとに第 2 回ワークショップにおいて福井の歴史文化の特徴を検討していきます。



グループワークの様子



1 伝統料理・食材

文 化 財 名 称	地 区	概 要
報恩講・冠婚葬祭の料理	全地区	当番で、キンピラ、油揚げのたいたの、たくあんの煮たの、すこ、煮しめを作る。
油揚げのたいたの	全地区	油揚げは贅沢品で、お祭りで食べた。お土産にもしていた。
たくあんの煮たの	全地区	今は高級品であるが、昔は一般家庭料理。金沢で有名になったが、福井発祥ではないか。今は高級品。昔は普通に家で作っていた。
すこ（ずいき）	全地区	あかずいき 灰汁で真っ黒になるから、今はやらなくなっている 里芋の上の部分調理する。ずいきともいう。塩もみして食べる。
里芋と小豆の煮たの	全地区	甘く煮たもの（デザートみたい）。報恩講にでる。
豆腐のお和え	全地区	こんにゃく、人参、擂り胡麻と味噌を入れる。冠婚葬祭にも作る。
あぶらきり（押し寿司）	全地区	桐の葉っぱで包んでいる。九頭竜川の鱒を使う。鱒、生姜を入れてつくる押し寿司。祭に各家で作り、ご近所に配りあう。
寿司	全地区	朴葉が使われるのは福井では珍しい？。油桐が多い、柿の葉もある。 松岡では鱒。殿下では、豆や野菜の寿司を2枚の葉で包む。
辛子麩	全地区	報恩講の料理。角麩をわって、水にふやかした酢味噌和え。
天神講のカレイ	全地区	1月25日の天神講で床の間に飾って、その日に食べる。カレイは天神さんが好きだったからという理由。
お雑煮	全地区	市内では、みそ汁に餅を入れる。中にはかぶらを入れるところもある。
ラッキョウの酢漬け	全地区	みんなで集まってワイワイ言いながらつくる。活動を続けていけるといい
干し柿	全地区	みんなで集まってワイワイ言いながらつくる。活動を続けていけるといい
うち豆	全地区	福井で初めて食べた。
呉汁	全地区	福井で初めて食べた。
へしこ	全地区	へしこはつくるが、魚醬文化はない。たまり（醤油）も聞かない。
へしこ	鷹巣・国見・越廼	みんなで集まってワイワイ言いながらつくる。活動を続けていけるといい。子供も喜んで食べる。サバは買っている。糠は一種のぬかだけにして、へしこを作っている。 ・へしこを作るのは自分好みのものを作ることができる。 ・水や酒につけて（塩抜きをして）食べる。 ・大野では、酒粕のニシン漬けを食べる。ハシの料理。昆布巻にもする。 ・公民館で伝承料理をまとめている。

文 化 財 名 称	地 区	概 要
蘭麝酒	東郷	戦国大名朝倉家ゆかりの健康酒として 400 年以上前から製造されている。滋養強壮にきく。
寿司	殿下	
朴葉寿司	殿下	実は油桐？地域づくりの一つになっている。
半餅	殿下	地域づくりの一つになっている。池田とか米が採れないところは、こんにゃくやソバで作る。
手作りこんにゃく	殿下	地域づくりの一つになっている。
ジビエ料理	美山	シカを料理して食べることはやらないことはないが、ただ獲る人がいない。現行法では減らすことはできない。シカなどをさばいても、食えない部分を処理するところが福井にはない。猟友会では持ち山などに埋めた。
味噌	全地区	みんなで集まってワイワイ言いながらつくる。この活動を続けていけるといい。
味噌	全地区	味噌は豆と米麴。米麴が多いのは、コメがよく取れるからではないか。福井は酒蔵が多く残っている。
木田ちそ	木田	木田地区で明治時代から栽培されている伝統野菜。サイダーにもなっている。
明里ネギ	湊	福井市街地西方の明里で栽培されている幻の伝統野菜。ピリッと辛くそばの薬味にちょうどよい。
河内赤かぶら	美山	美山地区の伝統野菜。850 年以上の歴史があり、昔ながらの焼畑農業で生産している。
福井の在来そば	美山	もともと文化ではなかった。

2 寺社仏閣

文 化 財 名 称	地 区	概 要
専照寺	木田	山号は中野山。元は、麻生津地区の中野町にあったと伝わる。住職の平さんは平家の子孫と聞く。建物も立派。家紋が雁金（ガンが二羽飛んできて足跡で図を描いた）で柴田氏と同じ。
神明神社	宝永	大変古くからある神社。戦国大名朝倉氏や松平氏が参拝していた。裏には祠があり、いつも参拝している。
泰澄寺	麻生津	泰澄大師生誕の地。
西超勝寺	東藤島	南北朝時代から続く歴史あるお寺。
東超勝寺	東藤島	日蓮さんが植えた椿がある。江戸時代に西超勝寺から分裂した。

3 古い街並みや景観

文 化 財 名 称	地 区	概 要
木田銀座商店街	豊	大和紡績があったころは、社員で流行っていた。
山	全地区	竹で環境が悪化している。竹を粉碎して肥料としているところもある
文珠山	文殊	泰澄大師ゆかりの山。
国見の千枚田	国見	高須小学校の周辺の水田。管理が大変である。大変風景が素晴らしい。平家が逃げてきた伝説がある。
八幡山（亀の井ホテル）の夜景	社	泊まって風景を見ることが出来る場所は他にはない。福井の夜景はきれい。県外の方が来て、１００万ドルの夜景と思う
越前海岸の水仙畑	越廼	現在、水仙畑を残していくよう活動している。急斜面であり、生産者の後継者などで残していくのが難しい。
ハーモニーホールの農耕地風景	麻生津	減反などで、ハーモニーホール一帯にソバを植えた。広域に植えていることが珍しい。白い花が咲く時期には、写真撮影に来る人がいた。なかには、ジュンブライドで結婚の写真を撮影に来ていた。生産者としては大変うれしい。ソバは農協におろす。６月からは麦を植える。
コスモス畑	宮ノ下	広域にコスモスが見れる場所はここだけ。
下市山からの風景	西安居	登山道が整備されてから、登山客が多い。登山道は、私有地でいろんな問題がある。お客さんがいろんな所に入っちゃうので守る会を結成した。自然もあってきれい。安居城（金屋城跡）もある。
蹄ノ滝	岡保	竹の簾川にある滝。朝倉義景の乗馬で滝を駆け上るときに蹄の跡を残したという伝承が残る。祈ると安産になるという子安観音がある。子安観音は江戸上町にもあったと聞く。
岡保の池	岡保	西光寺の境内にある湧き水の池。知っている人は知っている池で、水を汲みに来る人がいる。戦国時代に、西谷サイコウ寺があったと聞く。
豊地区にあった沼	豊	昔、おさごえ民家園付近から赤十字病院付近は、沼であった。お殿様が狩りに来ていたと聞く。埋め立てて建設した大和紡績は、地面から１ｍくらい嵩上げして水に浸からないようにしていた。
水仙畑	越廼	シカが、越廼の水仙を食べ、被害にあっている。また、山の下草が食べられ荒れている。
昔からの山道	殿下等	なくなってきた。文化をつなぐ道として残っているといい。
峠	〃	山道にも関連するが、峠には石仏が残っていたりする。
古道	〃	どこまで時代をさかのぼるかわからないが、集落内や山際の細い道など残っているが、知る人は少ない。

文 化 財 名 称	地 区	概 要
棚田	殿下等	山の斜面に細長く小さい田んぼがあるが、機会が入らず手作業で大変である。その土地の暮らしの歴史を物語っている。風景も素晴らしい。
山	一乗	山歩きのルート案内がない。マップがない。素晴らしい景色と自然。
森	//	杉が植林されているところが多いが、広葉樹が広がっている場所もあり、自然を感じる。
三里浜の砂丘	鷹巣	鳥取砂丘より大きかった。工業団地やテトラなどで縮小。駐車場が少なく、路駐が多い。昆虫や植物が豊富。
大味海水浴場	越廼	最近採れないが、メノウが拾える。県外から拾いに来ている。
田んぼの中の一本道	社	種池交差点から至民中学校に向かう道。水田の奥に城山がみえ、昔懐かしい田舎の風景。
芝原用水	東 藤 島 ～宝永	永平寺町で九頭竜川から取水する用水。江戸時代に福井城に飲料水を供給するために開削された歴史ある用水。
光明寺用水	宝永	宝永1丁目、2丁目あたりは見えるが、コンクリート護岸や暗渠になっており、街中は寂しい風景になっている。江戸時代に光明寺が率先して、町民のために開削して作った用水。光明寺は、旧文化会館の近くにあるが、元は違う場所にあった。
NHK 福井放送局の裏の川	宝永	戦後の頃、郷土歴史博物館の南には小川があって、洗濯や野菜を洗っていた。ここは主婦でにぎやかで、井戸端会議をしていた。ホタルもすごかった。
朝六ツ川	麻生津	昭和40年代くらいは、この川で洗濯をしていた。荷物を積んだ船が行き来していた。朝六ツ橋は、北陸道の名所。今の流れは当時と異なる。
古道	麻 生 津 ～木田	昔、花堂は湿地で、歩くために竹を埋めて道を作った。麻生津は、鯖江から福井、東の一乗、西の清水に抜ける街道の交差点である。旧北陸道が今市町の発掘で見つかったと聞くと、その先がわからない。古代の道は至民中学校付近に抜けているとも聞く。一里塚や天皇宿泊所がある。

4 仏像などの彫刻

文 化 財 名 称	地 区	概 要
釈迦涅槃物	豊	月見2丁目の宝蔵寺にあるが、今は一般観覧できない。人間3人くらいの大きさ。
治水謝恩碑	西藤島	西藤島公民館横にある。明治時代に杉田定一が尽力し九頭竜川を河川改修したことを称えたもの。
杉田定一像	鶉	明治時代に私財をなげうってまで治水に尽力した人。

5 祭りや伝統行事

文 化 財 名 称	地 区	概 要
孫わたし	全地区	行事。昔は盛大にしていた。
万寿まき	全地区	結納の時にまく。結納の時の嫁入り道具。
左義長	木田	八幡神社で開催。高齢化がすすみ、縄をあむ、藁をたたくななどを今はしなくなった。黒龍神社以外、福井の東側の地区では開催がどんどんなくなっている。
左義長	東安居	東安居では6～7mの飾りを作る。作り手は大人と宮総代。
左義長	社	ずっと続いている。やめたら続かない。
左義長	麻生津	区の飾りを燃やすのでもったいない。（祭りを？）知っている人を残していかない続かない。今市町では6～7mの飾りを作る。作り手は大人とお宮さんの人。
左義長	岡保	左義長をしていない
茅の輪くぐり	足羽	福井では珍しい。足羽神社で夏頃している。
観月の夕	麻生津	平成17年からの麻生津地区の夢まつりをハーモニーホールでしている。
お講さん	麻生津	集落内の家が持ち回りで報恩講をしていた。毎月やっていたが、家ではお魚とか料理をとって集まっていた。10年前までは、お参りを昼、夜2回やっていた。大人が集まり、食事や花札などで興じていた。
泰澄寺の護摩祈祷	麻生津	泰澄寺では毎年2月11日に開催。永平寺から僧侶（山伏）も来る。天台宗。

6 城跡や古墳などの遺跡や出土品

文 化 財 名 称	地 区	概 要
福井城	順化・宝永・旭	お堀がなくなってもったいない。
東安居城（金屋城跡）	東安居	福井藩主4代目の墓が長光院にあり、石像、石塔が残っている。曲輪も残っているが、だいぶガタがきている。
弘祥寺跡	東安居	お寺の跡地。石塔がある。
弘祥寺跡	東安居	弘祥寺跡が有名。うえには山城があって、登山道が整備されている。
弘祥寺跡	東安居	戦国時代と言われている昔の寺院跡が残っている。

文 化 財 名 称	地 区	概 要
大畦畷	岡保	岡西谷町北方水田あたり。この古戦場では、夜な夜な馬の鳴き声や音がすると伝わる。
花野谷古墳	岡保	三角縁神獣鏡が出ている貴重な古墳
西超勝寺の土塁	東藤島	境内に藤島城跡の土居跡が残る。歴史散策会で訪れている。
本堂古墳群	安居	小学校に近くに古墳があり、珍しい。
踏野寺	麻生津	今はどこにあるかわからないが、冬野町の谷は永平寺を建てる候補地になったと伝わる。
鷹巣城跡	国見	あまりにも海への眺望がきれいで、3回登った。南北朝時代の城であることは知っている。
酒生古墳群	酒生	たくさんの古墳がある。公民館で遺跡祭りをしている。
御茸山古墳群	東郷	継体天皇につながる古墳。古墳好きにはたまらない。

7 樹木や生物

文 化 財 名 称	地 区	概 要
泰澄寺の杉の木	麻生津	杉の前で座禅修行を行う。かなり幹回りが大きい
足羽山など地元の木	足羽など	落ち葉をいやり、街中の大きい木が切られており、残念である。
お寺の古木	全地区	どこか残せていけるといい。
希少植物・生物とその環境	全地区	条例を作っても、守っていききたい。
砂丘の海浜植物	棗・鷹巣	希少種がある。車の乗り入れを禁止する条例を作って守りたい。地元の協力がないと守れない。例：下市山などの丘陵も同様
ハッタスナモグリ	国見	エビの仲間の新種化石（八田氏命名）

8 芸能

文 化 財 名 称	地 区	概 要
雅楽	岡保	地区に明治時代から続く寮雅楽会「龍楽社(りゅうがくしゃ)」がある。
獅子神楽	越廼	越廼地区で毎年10月8・9・10日の「秋まつり」で開催。
獅子舞など	国見	国見神社(国見町)で1月晦に近い日曜日に五穀豊穰・家内安全を祈願する例祭。獅子舞や巫女舞が奉納される。
神楽	国見	嫁さんをのせて周りを囲む。

9 近代の産業遺産

文 化 財 名 称	地 区	概 要
電車（キハ20JR）		電車が好き。古い電車が消えていくので残していきたい。
福井鉄道赤十字前駅	豊	ローカル線の駅。駅舎が新しくなっていくなか、福井鉄道赤十字前駅は昭和40年代から変わっていない。駅員さんが2時間しかいない。
機関車の操作場	木田	JRの福井新駅にあった。
足羽山の採石場	足羽	七つ尾口では。初めて見つかった生物もあり、市で保護をしてほしい。
赤谷鉱山	美山	日本唯一の金平糖石が取れる（今でも県外から拾いに来ている）。盗掘されネットオークションに出ている。※金平糖石は県の石である。ヒ素を含み危険なため、採取者に告知必要（看板）。
線路の下をくぐる道	美山	越美北線。わくわく感。

10 鉱石

文 化 財 名 称	地 区	概 要
ペグタイト（水晶）	社	ペグタイト（水晶）が拾える。
化石	国見	伊藤建設採石場跡。1600万年前の化石が採取できる。干潟の後だったため、海産、淡水産の化石が層位的に採取できる。全国的に見ても希少な化石採取ができる地層。ワニ、イノシシ、シカの化石も出る。
鉱石		福井ではメノウが採取できる。

11 伝承・逸話

文 化 財 名 称	地 区	概 要
大和屋のアメ	麻生津	死んだお母さんが赤ちゃんのアメをもらいにきたという幽霊話が伝わっている。碑がある
平家の落人伝説	国見	国見町（三本木）に平家が落ちのびたと聞いている。その時の衣装も残っていると聞く。

12 その他

文 化 財 名 称	地 区	概 要
福井弁	全地区	ルーツは京都か。若い子に知ってもらいたい。使われなくなっている。